

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
おうちだ（児童発達支援事業）		R8 年 3月 16日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・2階の多目的ホールやスヌーズレンルームを活用している。 ・車いすやバギーを使用しない場合は、教室の外に出している。	状況によっては少し手狭に感じることもあるが、基本的には適切である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用を希望する方の要望をできるだけ叶えられるように、利用児の受け入れをしている。	欠勤やご利用児の変更により余裕が無くなる場合もあるが、基本的には適切である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・肢体不自由のお子さん、重症心身障がいのお子さんがゆったり過ごすことができるように、マット上でリラックスできるスペースを確保している。 ・マットを活用するなど、分かりやすく区切られている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・心地よく過ごしていただくために、支援に関係のない作業業務は、子どものいない場所で実施する。 ・毎日の掃除や消毒に加えて、活動や場面ごとに適切な環境が整えられている。	・支援中に、支援に携わっていない職員が教室で作業している場面がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個別に使用できる部屋は、建物内に数箇所確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎日の朝礼や振り返りで、その日の目標設定や前日の振り返りなどを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・法人HPの公表に加え、事業所単位でも保護者へ公表している。3月の契約更新の際にも内容を保護者へ伝えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・都度、意見交換や相談・面談を実施している。 ・職員会議や朝礼で実施している。必要に応じて適宜話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	第三者評価はR5年度に実施している。その後は結果をもとに業務改善している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所内での研修を実施している。専門職から法人外の研修案内もあり、各自で参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	職員間でお子さんの状況や様子、課題についての意見交換や共有を活発に行い、支援プログラムに基づいた支援を意識している。保護者へも説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	アセスメントは、適宜見直している。担当職員だけでなく事業所内でも定期的に相談しながら計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	他職種間での意見交換が活発に行い、話し合いの内容は全職員で共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	毎日の朝礼や振り返りで共有、取り組みの様子や反省、課題点などについて話し合いができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	太田stageやNCプログラムなどでアセスメントを行っている。専門職（PT・保育士・看護師）としてもアセスメント実施している。	重症児さんの発達面について、日々の行動観察などによりアセスメントしている。標準化されたツールを用いることは難しい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ご家族やご本人のニーズも取り入れながら設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	他職種間での意見交換を行いながら立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	活動後には振り返りを行い見直し改善している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	お子さんの状況や様子、課題点、ご家族のニーズなども考えながら支援計画を立案し支援が行われている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎日、朝の打ち合わせにおいて、その日行う支援の内容や役割分担、流れなどを確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	翌日に、振り返りを行い職員間で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の支援について記録し保護者とも共有している。職員間の振り返りも記録し、次の支援につながるよう改善している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎回の振り返りを共有し、モニタリングしている。支援計画も必要に応じて見直しをしている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	最近の様子などを各職種から共有した上で、担当職員が参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	リハビリや保育園の見学を通して連携を行っている。場合によっては、支援方法を見直したり統一を図ったりしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	定期的に保育園に訪問したり、担当者会議などに参加したりして相互理解を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	令和6年度7年度は就学を迎えるお子さんがいない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5	児童発達支援センターや事業所と連携を図っている。管理栄養士、言語聴覚士など専門職に助言を求めることができる。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	法人内の保育園と交流を図っている。感染症の流行時期は、交流を控えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳において、文字や写真で様子を伝えている。課題や通常と異なる様子などは、お迎えの際に保護者に伝えている。急を要する場合は電話で伝えている。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者対象の研修案内が届いたら、全保護者へ案内している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	全体説明会において説明している。	丁寧な説明は出来ていない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	支援計画作成前に保護者面談し意向の確認をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	計画を立案したり評価したりした場合は、保護者へ説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者面談は定期的実施している。相談内容は、全職員で共有し必要に応じて対応を検討している。共通した適切な対応が取れるように努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	法人内の事業所や外部において、保護者同士が交流できる機会があれば、案内している。	今年度は、事業所単位では実施できていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	SNSなどを活用し保護者の申し入れを把握し対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月、通信を発行し活動概要や行事予定を保護者へ伝えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	常に意識している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	相手の状況に合わせてながら対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	事業所と同じ建物内において、地域住民や子どもクラブの方が利用できる環境を整えている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルに沿って訓練を実施している。	職員間での認識にバラツキがある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを策定し訓練などを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	利用前に確認し変更の都度、緊急時対応を見直している。毎日、朝の打ち合わせで発作時の対応、平熱体温、緊急搬送先を伝えている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食事支援開始前に、食物アレルギーのある方には医師の指示書を提出していただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し訓練や研修を行っている。	必要に応じて見直し、職員間で再認識を合わせる必要がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	全体説明会で周知している。	丁寧に説明することが必要である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリや事故があった場合は、事業所内で共有し、再発防止策をすぐに考え実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止に向けた話し合いや研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束については、組織的な話し合いを行い保護者に説明後、計画に沿って実施している。内容は、都度 保護者へ伝えている。	